

Java 実行環境（JRE）の自動アップデートの解除

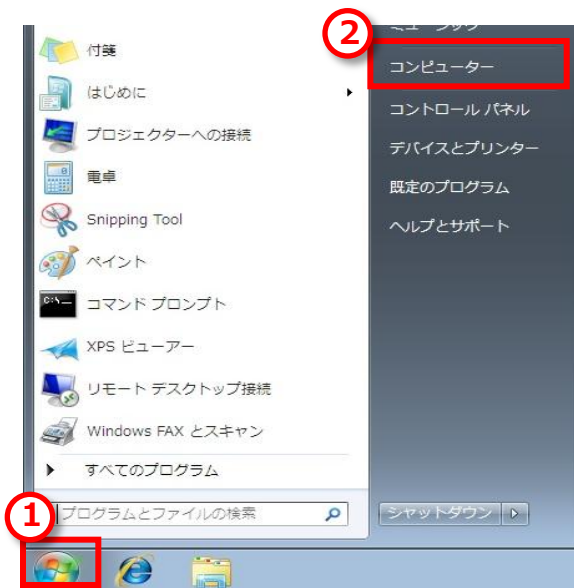
Java実行環境（JRE）には最新バージョンへ自動アップデートする機能がありますが、電子入札システムに適合しないバージョンに更新すると**不具合（時計が表示されないなど）が生じる**場合があります。
ここで説明する手順で、**自動アップデートを無効にしてください。**

注意

【コントロールパネル】から【Javaコントロールパネル】を開いて設定を行っても、自動アップデートは解除できません。
必ず、以下に示す手順で設定を行ってください。

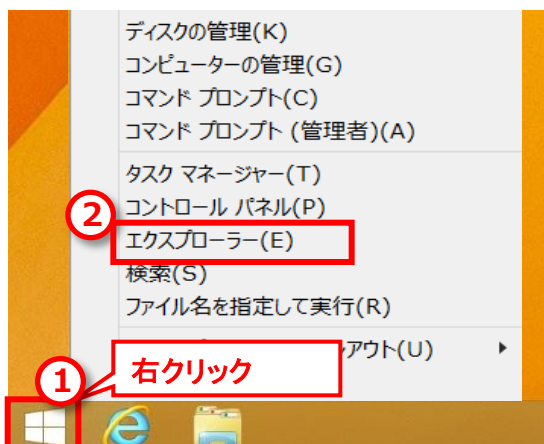
(1) ローカルディスクを開きます。（Windowsのバージョンにより操作が異なります。）


Windows Vista / Windows 7 の場合



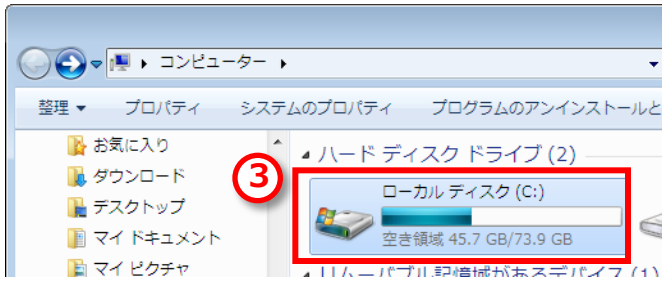
- ① [スタートボタン] をクリックします。
- ②表示されたメニューから [コンピューター] を選択します。

Windows 8.1 / Windows 10 の場合



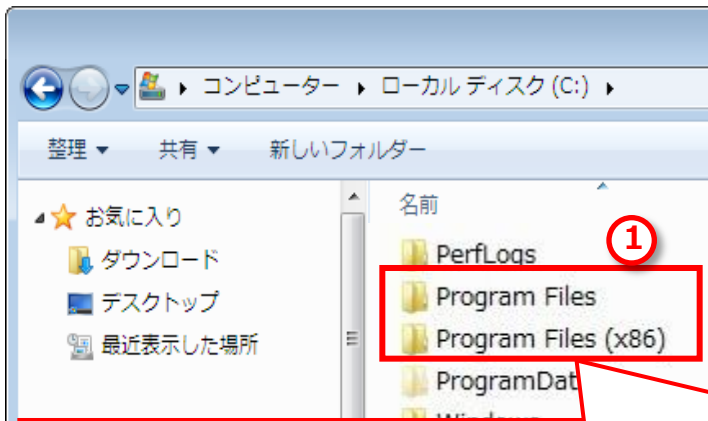
- ①デスクトップ画面で[Windows] ボタンを**右クリック** します。
（またはキーボードの[Windows]  キーを押したまま、[X]キーを押します。）
- ②表示されたメニューから [エクスプローラー（E）] を選択します。

Java 実行環境 (JRE) の自動アップデートの解除



- ③ [ローカルディスク (C)] を開きます。
- ※お使いのパソコンによりドライブ名は異なります。

(2) Javaコントロールパネルを開きます。



- ① [Program Files(x86)]が存在する場合は [Program Files(x86)]を、無ければ[Program Files]を開きます。

[Program Files] のみの場合
・・・ [Program Files] を選択

[Program Files] と [Program Files(x86)] が存在する場合
・・・ [Program Files(x86)] を選択



- ②以下の順でフォルダを開きます。
- [Java]
 - ⇒ [jreXX] (Javaのバージョンによって異なります。)
 - ⇒ [bin]

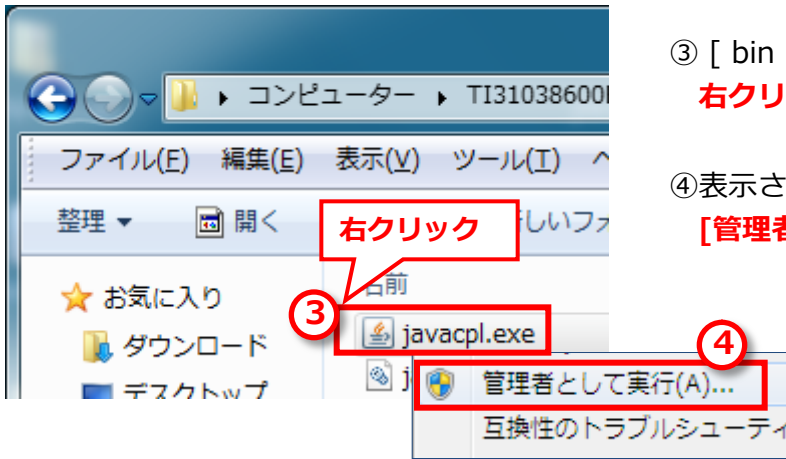
ご利用のJavaのバージョンにより異なります。

Java6_XXをご利用の場合・・・ [jre6]

Java7_XXをご利用の場合・・・ [jre7]

Java8_XXをご利用の場合・・・ [jre1.8.0_XX]

Java 実行環境 (JRE) の自動アップデートの解除



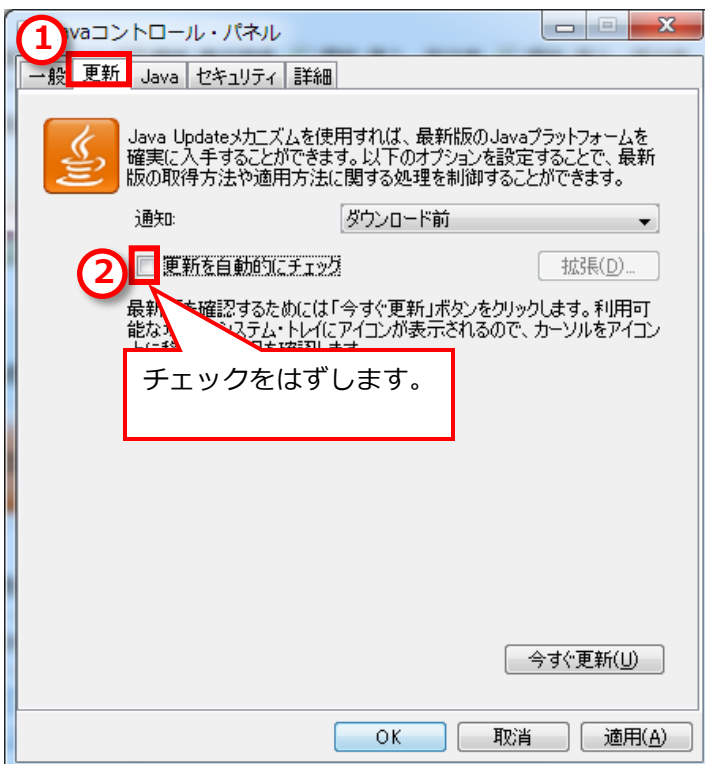
③ [bin] フォルダ内の [javacpl] を選択し、**右クリック**します。

④表示されたメニューから
[**管理者として実行(A)**] を選択します。



左図のような確認画面が表示された場合は、[はい] ボタンをクリックします。

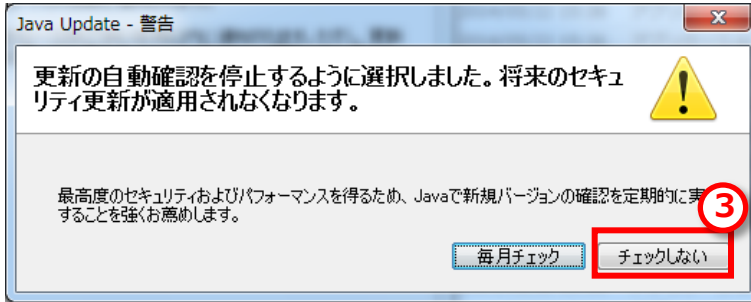
(3) Javaの自動アップデートを解除します。



①【Javaコントロールパネル】の
[更新 (またはアップデート)] タブを
選択します。

②[更新 (アップデート) を自動的に
チェック] のチェックをはずします。

Java 実行環境 (JRE) の自動アップデートの解除



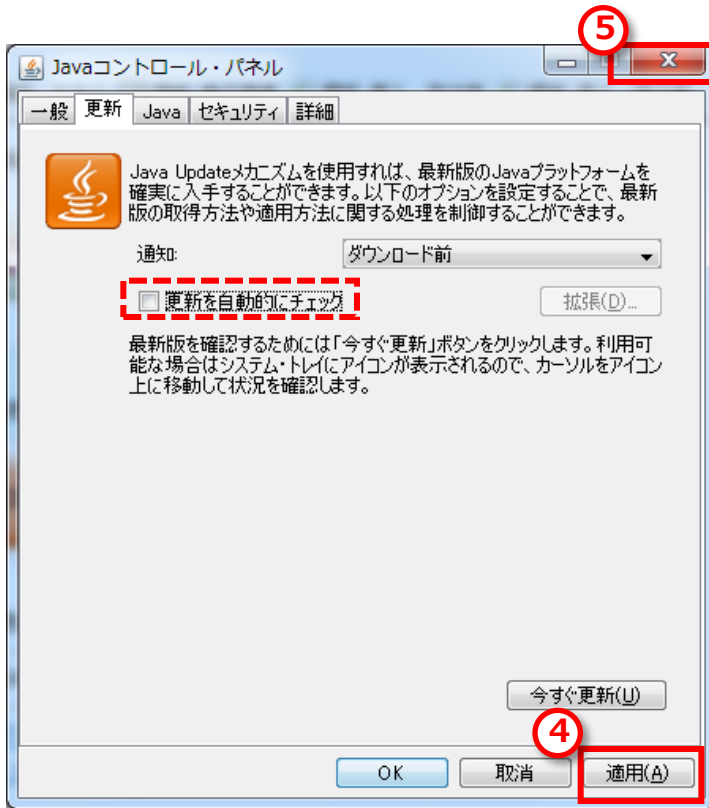
⇒【警告メッセージ】が表示されます。

- ③ [チェック (確認) しない] ボタンをクリックします。

⇒【Javaコントロールパネル】に戻ります。

- ④ 「更新 (アップデート) を自動的にチェック」にチェックが入っていないことを確認し、[適用 (A)]ボタンをクリックします。

- ⑤ [×] ボタンをクリックして【Javaコントロールパネル】を閉じます。



以上で『Java実行環境 (JRE) の自動アップデートの解除』は完了です。